

1年 国語「情報社会に生きる」

情報を集めよう・引用しよう

日常生活の中で見つけた疑問について、調べる力を付ける单元である。効果的な情報の集め方とその活用のしかたについて指導し、探究活動への意欲を高められるように取り組んだ。

- ①日常生活での疑問から「問い」を立て、情報の調べ方について考える
- ②図書やインターネットなどの出典の示し方について学ぶ
- ③わかりやすい構成法と情報カードの使い方を学び、情報を集める

①目的に応じて情報を集めるために、日本十進分類法や事典の選び方などを司書から指導した。実際に学校図書館のどこにあるのかを伝えることで、スムーズに情報収集を行うことができた。



④奥付の見かた

ボプラディア情報館 食と健康

著者名「著者」の他に「作」「編纂」「監修」などと書かれている場合もある。

発行年「一番新しい版の第1刷の年」を書く。「版」は本の内容が変わった回数。「刷」は印刷された回数。

⑤参考文献リストの書き方

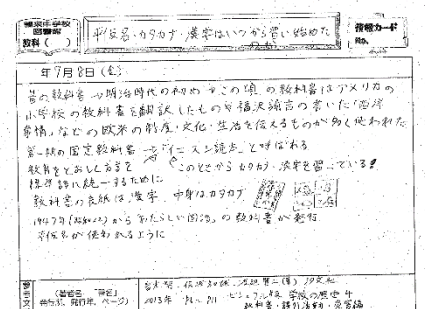
① 著者名	② 書名	③ 発行所	④ 発行年
豊川裕之 監修	ボプラディア情報館 食と健康	ボプラ社	2006年

「著者名」は「著者」の他に「作」「編纂」「監修」などと書かれている場合もある。

「発行年」は一番新しい版の第1刷の年を書く。「版」は本の内容が変わった回数。「刷」は印刷された回数。

②著作権を守るために、参考文献をつけることを指導した。奥付を読み、必要な情報を抜き出す演習をグループで行った。実際に全員で行うことで、個人での活動もスムーズにできた。

③「白山市図書館を使った調べ学習コンクール」の受賞作のレプリカから、わかりやすい構成を学んだ。また、情報カードを観点別に分けることで集めた情報を整理することができることを指導した。



- ・生徒自身で見つけた問いを立てることで、どの授業でも意欲的に取り組んでいた。
- ・学校図書館だけでは情報が足りない生徒には、夏休みに地域の図書館の利用を促した。
- ・今後、他教科の探究活動でも学びを活かし、生徒に定着させていきたい。